

公表: 令和3年2月26日

事業所名: こども発達支援教室すもも

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80%	20%	親子通園時に保護者と利用児が最大にいる時には狭く感じる。	定員を遵守しながら検討はしています。
	②	職員の配置数は適切である	60%	40%	個別支援が必要な子がいる時に職員数が足りないと感じる。	配置上必要な人員配置はできません。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	園庭への出入り口でのステップが広がり出入りしやすくなったが階段状なので注意が必要。	今後も改善をしていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	毎日清掃を行い、サライオーターやハイターを常備している。コロナ対策で換気が必要と言われるが窓を開けると飛び出しや騒音問題がある。	コロナを想定した施設環境ではないので、必要な配慮を適切に進めていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		今後も実施していきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	年1回事業所評価を配布している。	今後も実施していきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページにて公開している。評価をファイリングして閲覧できる。	今後も実施していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	40%	60%		外部評価について適切な時期に実施できるよう検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	80%	20%	今年度はコロナのため中止になった研修が多かった。	コロナ収束後は以前のように職員全体で研修に参加していきたいです。
適	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	児発管が責任を持って業務している。	今後も実施していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	児発管が責任を持って業務している。	今後も実施していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	児発管が責任を持って業務している。	今後も実施していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	計画に対して職員の共通理解ができるよう話し合いをしている。	今後も実施していきます。

切な支援の提供	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	活動プログラムの主を当番制にして、種を中心に必要において話し合いを行なっている。	今後も実施していきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	年間の療育カリキュラムを組んで月計画を立てている。	今後も実施していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%		今後も実施していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	支援開始前に申し送りを行なっている。	今後も実施していきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	記録を書きながら意見を出し合い、気になる点はその都度話し合っている。	今後も実施していきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	前期後期に目標に対してのまとめを行い、支援を見直している。	今後も実施していきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		今後も実施していきます。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		今後も実施していきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	毎月保健所や児相へ訪問し現状について話す機会を作っている。	今後も実施していきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	40%	60%	該当者なし。	医ケア児の利用がないです。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	25%	75%	該当者なし。	医ケア児の利用がないです。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	67%	33%	該当者なし。	ほとんどの利用児が同一法人内の児童発達支援センターへ移行するので情報共有は行いやすい状況です。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	40%	60%	該当者なし。	学校に移行する年齢の利用児がいないです。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80%	20%		コロナの影響で他機関との連携の機会は少ないですが、コロナが収束した後は連携を行なっていきたい。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	83%	17%	同一法人内にあるこども園と行事を行なっている。	同一法人内のこども園との交流を今後も深めていきます。
	㉙	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	40%	60%	職員として存在を知らない。	参画を長年希望しているのですが参加する機会が与えられないため、参加できていません。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	日々親子通園にて支援方法について確認を行なっている。	今後も実施していきます。

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	60%	40%		ペアレントトレーニングは今年度できていないものの、コロナ収束後は再開します。
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		今後も実施していきます。
	㉒	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		今後も実施していきます。
	㉓	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		今後も実施していきます。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%		今後も実施していきます。
	㉕	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	利用開始前に事業所内相談支援加算や家庭連携加算の説明を行なっている。また個人面談等を行い対応している。	今後も実施していきます。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月お便りを発行している。	今後も実施していきます。
	㉗	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	個人情報使用同意書に従い注意し、管理している。	今後も実施していきます。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		メールなど連絡帳以外の方法も活用していきます。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	40%	60%		コロナの関係で交流の機会はできていないのですが、見学を希望する方に対しては随時対応しています。
	非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	各部署に防災委員を配置し月1回会議を行いマニュアルや訓練を統括している。
㉛		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	月に1、2回訓練を行なっている。	今後も実施していきます。
㉜		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	100%	0%	利用開始前に生活調査票に記入していただき、確認を行なっている。	今後も実施していきます。
㉝		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	栄養士と共に確認を行い、アレルギー除去を可能な限り対応している。	今後も実施していきます。
㉞		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	作成しているが内容がヒヤリハットではなくアクシデントになっていることが多い。	今後も実施していきます。
㉟		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	75%	25%		今年度は研修の機会が少ない状況ですが、可能な範囲で実施していきます。
㊀		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	80%	20%	該当者なし。	身体拘束を行うことは基本的にないのですが、期せずして身体拘束になっていないかの検討を今後も続けていきます。